

令和4年度

# 事業計画

# 社会福祉法人行田市社会福祉協議会

## 令和4年度 事業計画

### 第1 運営方針

我が国では少子高齢化、人口減少等、社会構造が変化し、福祉ニーズの多様化及び増加が進んでいます。ポストコロナ時代においては、全世代型社会保障に向けて、地域における関係性の再構築など、新たな福祉活動の展開が必要であり、生活に困窮する人々を地域の中で支え、自立に向けた支援活動を強化していくことが喫緊の課題となっています。

そうした状況の中で、国では「重層的支援体制整備事業」を制度化し、市町村全体の支援機関・地域の関係者がつながり続ける支援体制を構築することをコンセプトに、「属性を問わない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に取り組もうとしています。

本会では、これらの状況を踏まえながら、本市ならではの「地域共生社会」を築くことを目指し、地域での支え合いや見守り活動を更に充実するとともに、生活困窮者の方等への支援の強化を図りながら、本会に温かいご支援とご理解をいただく市民の皆様や事業者の方々と力を合わせて、引き続き、地域の絆を育むことに取り組んで参ります。

#### 【運営方針の柱】

- 1 地域福祉を総合的に推進します
- 2 高齢者、障がい者、児童への福祉サービスの充実を図ります
- 3 権利擁護事業、生活支援事業等の事業の充実を図ります
- 4 指定管理施設等の適切な管理運営を推進します
- 5 適正な法人運営と経営基盤の強化を推進します

## 第2 重点事業

### 1 地域福祉の総合的な推進

#### (1) いきいきサロン活動の推進及び支援 (予算：3,587千円)

コロナ禍で活動休止や解散するサロンが増加する一方、地域に住む高齢者の孤立や孤独に陥らないために、また、体力低下を防止するために「いきいきサロン」の必要性は増しています。声かけ活動を加えながら、継続して仲間づくりや健康づくり、また高齢者の閉じこもり防止に取り組みます。

【数値目標】いきいきサロン設置数 90カ所 (R3 95カ所)

#### (2) ボランティアセンターの機能充実 (予算：856千円)

##### ①相談業務

ボランティアの需給調整、情報提供などを行い、ボランティアをしたい人とボランティアに来てほしい人をつなぎます。

【数値目標】需給調整件数 110件 (R3 100件)

##### ②ボランティア体験プログラム

「彩の国ボランティア体験プログラム2022 in 行田」を実施し、ボランティア活動へのきっかけづくりを行います。

【数値目標】参加者数 延260人 (R3 延250人)

##### ③ボランティア講座

気軽に参加できる初級講座や実践者向けのレベルアップ講座を行います。また、行田青年会議所(JC)や市民大学など他機関と連携し、新型コロナウイルス等感染症対策を図りながら、速やかに減災活動を行う災害ボランティア養成講座を開催します。

【数値目標】5回開催 受講者数 延210人 (R3 延200人)

##### ④ボランティア団体の活動支援

ボランティア団体連絡協議会等への支援を行い、各グループ間の活動の活性化を図ります。

### ⑤福祉教育の推進

社会福祉協力校の指定数を17校に増やします。学校との連携を密にしなが  
ら、福祉体験や地域との交流活動を通じて社会奉仕及び社会連帯の精神  
を養い、将来の福祉人材の育成を図ります。

### ⑥情報発信

様々なボランティア講座やボランティア活動について、本会ホームペー  
ジ、Facebookや「社協だより」による募集や活動紹介を行うほか、市民活  
動サポートセンターとの連携・協働を図り、ボランティア活動の情報発信  
に努めます。

## (3) 地域安心ふれあい事業

(予算：3,754千円)

### ①いきいき・元気サポート制度（有償ボランティア）の推進

新規サポーターの登録を増やすために社協だよりやホームページ等によ  
る事業の周知に努めていきます。

また、地域の支え合いの理念に基づき、日常生活において支援を必要と  
する高齢者や障がい者等に見守りや家事援助などのサービスを提供します。

【数値目標】サポーター数 150人 (R3 150人)

利用者数 200人 (R3 200人)

活動時間数 2,500時間 (R3 2,500時間)

### ②支えあいマップづくりの推進

「行田市支えあいマップセンター」において、支えあいマップを活用し  
た地域づくりの事例などを積極的に紹介し、「支え合いの地域づくり」の取  
組みの一つとして、地域課題を見える化し、地域住民による課題の共有を  
図ります。また、既に作成済みの地域においては、さらなる課題解決に向け  
た地域活動を推進していきます。

【数値目標】更新自治会 95自治会 (R3 90自治会)

## (4) ふれあい福祉健康まつり

(予算：2,244千円)

感染症対策等、参加者の安心安全に配慮したイベントを開催し、市民が  
相互に交流し、福祉に対する理解を促進します。

【数値目標】来場者数 約 1,000 人 (R3 約 1,000 人)

(5) 共同募金配分金事業 (予算：12,745 千円)

共同募金会からの配分金により、高齢者、障がい者や児童など、地域で援助や支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことができるよう各種事業を実施します。

また、本会のホームページのリニューアル等広報機能の充実を図ります。

(6) 生活支援体制整備事業 (予算：3,095 千円)

自治会地区連合会圏域の「協議体」を起点として、社会福祉施設・NPO 団体・ボランティア・民間企業等による多様な支援を結び合わせ、高齢者の生活支援サービスの充実を図ります。

【活動目標】

- ・地域住民と社会福祉法人施設がタイアップし「地域交流の場」を設けていきます。
- ・「支えあいマップ」を活用しながら、「災害時避難行動要支援者」の情報共有を図り、平常時から顔の見える地域づくりにつなげていきます。
- ・ボランティア団体等と自治会が連携し、日常生活において支援が必要な方を支えあう、助け合い活動に取り組んでいきます。
- ・地域交流スペース等を拠点とした「健康講座」を通して、地域住民の交流を図り、介護予防につなげていきます。

## 2 高齢者、障がい者及び児童福祉サービスの充実

(1) 地域活動支援センター事業 (Ⅱ型) (予算：13,274 千円)

日常生活に支障をきたしている障がい者に対して、通所により創作活動、機能訓練、食事、入浴などのサービスを提供し、利用者が地域において自立した社会生活を営むことができるように支援します。

【数値目標】利用者数

一日型	延 780 人 (R3 延 780 人)
短時間型	延 680 人 (R3 延 660 人)
半日型	延 300 人 (R3 延 240 人)

※「一日型」…1日を通じて、入浴、食事提供、レクリエーション等のサービスを提供（送迎あり）

※「短時間型」…概ね2時間以内の滞在で、指導員による個別機能訓練サービスを提供（送迎なし）

※「半日型」…半日を通じて、入浴、個別機能訓練、レクリエーション等のサービスを提供（午前・午後の入替制、送迎あり）

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業（予算：通所型A 3,953千円、一般介護予防教室事業 336千円）

介護保険の被保険者に対して、要介護状態または要支援状態となることを予防し、地域において自立した日常生活を営むことができるよう「通所型A」及び「一般介護予防教室事業」を実施します。

※「通所型A」…基本チェックリストで、要介護状態となるおそれのある方及び要支援状態の方に対して、集いの場を設け、レクリエーションや体験講座を実施します。

また、支えあいマップを利用した「自分マップ」を作成することで、利用者の地域での繋がり等を把握し具体的な目標設定をすることで、心身の機能向上を図り、自立した日常生活が送れるよう支援します。

※「一般介護予防教室事業」…65歳以上の高齢者に対して、健康づくりや生きがいつくりの教室事業を実施し、介護予防に関する活動の普及・啓発に努めます。

・実施予定の教室 マジック教室、脳トレ体操教室、骨盤ストレッチ教室、水中太極拳教室、ノルディックウォーキング教室

【数値目標】利用者数 通所型A 延 750人（R3 延 720人）

一般介護予防教室事業 延 335人（R3 延 335人）

(3) 機能回復訓練事業

（予算：31,731千円）

高齢者や障がい者に対して、心身機能の維持向上と健康増進を目的とした訓練を行います。また、事業を通して利用者自らが地域における健康増進及び介護予防の普及啓発に取り組むことができるよう、支援の充実を図ります。

【数値目標】 機能回復訓練室利用者数 延 13,000 人 (R3 延 12,100 人)

プール利用者数 延 7,000 人 (R3 延 6,750 人)

(4) 居宅介護・重度訪問介護事業 (予算：5,717 千円)

障がい者（児）が在宅で日常生活を営むことができるよう、利用者の身体状況等に応じて身体介護や家事援助などの生活支援を行います。また、外出等のニーズに対し、ホームヘルパーを派遣する障がい者等外出支援事業一体的に行い、障がい者等の地域活動を推進します。

【数値目標】 利用回数 延 1,100 回 (R3 延 960 回)

(5) 児童発達支援事業 (予算：6,919 千円)

発育・発達に遅れがあると認められる未就学児が、社会生活に適應できるよう生活指導、機能訓練などを行います。また、市内の保育所、幼稚園及び相談支援事業所等と連携し、児童の集団生活への適應状況や指導方法等、包括的に支援方法を共有し、就園や就学に向け、保護者への情報提供にも努めます。

【数値目標】 利用者数 延 540 人 (R3 延 540 人)

(6) 放課後児童健全育成事業 (予算：139,148 千円)

保護者の就労などにより、昼間常時留守になる家庭の小学生に対して、放課後等の居場所を提供し、その保護及び育成を図ります。

### 3 権利擁護事業及び生活支援事業の充実

(1) 法人後見事業 (予算：648 千円)

成年後見制度に関する相談や申立支援などを行います。また、裁判所の審判により、本会が後見人等となる法人後見事業を実施します。

なお、今後は成年後見センターの設置に向けた事業の整備を行います。

【数値目標】 受任件数 9 件 (R3 6 件)

(2) 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）(予算：3,745 千円)

判断能力が不十分な高齢者や知的障がい・精神障がいのある方に対して、生活支援員の協力により、福祉サービスの利用申込みや契約手続き、日常

的な金銭の出し入れなどを支援します。

【数値目標】利用者数 58件 (R3 46件)

(3) 行田市福祉資金貸付事業 (予算: 10,214千円)

一時的に生計困難にある低所得者世帯に対して、生活の安定と自立を図るため、1世帯3万円を限度に貸し付けを行います。

【数値目標】貸付件数 100件 (R3 100件)

(4) 生活困窮者自立相談支援事業 (予算: 12,485千円)

経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方に対して、相談支援を行い、関係機関と協力して支援計画を作成し、自立に向けた支援を行います。

【数値目標】新規相談支援件数 80件 (R3 60件)

支援実績件数 延1,600件 (R3 延1,200件)

(5) 学習支援事業 (予算: 5,210千円)

生活保護世帯や生活困窮世帯の子どもに対して、学習支援を行います。

【数値目標】学習支援利用者出席率 90% (R3 90%)

(6) フードドライブ事業 (予算: 278千円)

通年で、家庭で余っている日用品や食品等を寄贈いただき、生活困窮者等に無償で提供しています。特に期間を区切り実施している「ライフ&フードパントリー」(配布会)や「ライフ&フードドライブ」(寄贈受付)をきっかけとして、生活にお困りの方の生活相談を行い、自立の支援につなげています。

【数値目標】ライフ&フードパントリー(配布会) 毎月実施

ライフ&フードドライブ(寄贈受付) 年4回実施 (R3 年3回)

(7) 彩の国あんしんセーフティネット事業 (予算: 20千円)

県内の社会福祉法人で組織する社会貢献活動推進協議会の会員となり、生活困窮者の自立の支援を行います。

【数値目標】利用者数 12人 (R3 10人)



#### 4 指定管理施設の適正な管理

運営経費の節減を図るとともに、施設を安心して利用していただけるよう、設備等の適正な管理に努めます。

(1) 行田市総合福祉会館 (予算：53,055千円)

【数値目標】利用者数 34,000人 (R3 28,500人)

(2) 行田市老人福祉センター (予算：32,797千円)

【数値目標】利用者数 12,000人 (R3 10,000人)

(3) 行田市障害者福祉センター (予算：17,016千円)

#### 5 適正な法人運営と経営基盤の強化

理事会、評議員会等を開催するとともに、経営基盤の強化を図るため、自主財源の確保に努めます。

(1) 理事会、評議員会の開催 (予算：202千円)

(2) 会員会費増強活動 (予算：404千円)

【数値目標】団体会員 120団体 (R3 120団体)

(3) 社協だよりの発行 (予算：2,237千円)

年5回・全戸配布

(4) ホームページの充実 (予算：139千円)

情報発信として、社協だよりの掲載やFacebookの活用・充実を図ります。

また、スマートフォンに合わせたデザインのホームページにすることで閲覧しやすい環境を図り、積極的な発信を行います。

### 第3 実施事業一覧

#### 1 地域福祉に関する事業

(1) いきいきサロン事業 《重点》〔自主〕

(2) ボランティアセンター事業 《重点》〔自主〕

ボランティアの需給調整、ボランティア活動へのきっかけづくりやボラン

ティア講座の開催、ボランティア団体の活動支援、ボランティアの情報発信、社会福祉協力校の指定、災害ボランティアの養成

(3) 地域交流事業 [自主]

障がいの有無や世代間を超えて楽しめるレクリエーションの実施

(4) ふれあい福祉健康まつり 《重点》[自主]

(5) 地域安心ふれあい事業 《重点》[受託]

いきいき・元気サポート制度、支えあいマップづくり

(6) 共同募金配分金事業 《重点》[自主]

①一般募金配分金事業

いきいきサロン事業、ふれあい里親事業、福祉団体助成事業、地域福祉活動事業、社会福祉協力校助成事業

②歳末たすけあい募金配分金事業

歳末たすけあい援護事業、ふれあい福祉健康まつり、ひとり親家庭新入学祝い事業、在宅生活支援事業、ボランティア活動助成事業、訪問理美容サービス事業、地域福祉活動事業、広報活動事業、学校図書支援事業、いきいきサロン事業、災害ボランティアセンター整備事業、支えあいマップ事業、市民ベンチ事業、障害者(児)スポーツ・レクリエーション大会

(7) 協力団体への助成

行田市自治会連合会、行田市民生委員・児童委員連合会 [自主]

(8) 生活支援体制整備事業 《重点》[受託]

## 2 高齢者・障害者福祉に関する事業

(1) 車いす貸出事業 [自主]

(2) 居宅介護・重度訪問介護事業 《重点》[自主]

(3) 福祉車両貸出事業 [自主]

(4) 訪問理美容サービス事業 [自主]

(5) 手話通訳者派遣事業 [受託]

- (6) 地域活動支援センター事業(Ⅱ型) 《重点》〔受託〕
- (7) 介護予防・日常生活支援総合事業(通所型A、一般介護予防教室) 《重点》〔受託〕
- (8) 機能回復訓練事業 《重点》〔受託〕
- (9) 各種教室事業 〔受託〕

### 3 児童福祉に関する事業

- (1) 児童発達支援事業 《重点》〔自主〕
- (2) おもちゃ図書館 〔受託〕
- (3) ファミリー・サポート・センター事業 〔受託〕
- (4) 放課後児童健全育成事業 《重点》〔受託〕
- (5) 児童センター事業 〔受託〕
- (6) ふれあい里親事業 〔自主〕

### 4 権利擁護及び生活支援に関する事業

- (1) 法人後見事業 《重点》〔自主〕
- (2) 福祉サービス利用援助事業(あんしんサポートねっと) 《重点》〔受託〕
- (3) 行田市福祉資金貸付事業 《重点》〔自主〕
- (4) 生活福祉資金貸付事業 〔受託〕
- (5) 生活困窮者自立支援事業(自立相談支援事業、学習支援事業) 《重点》〔受託〕
- (6) フードドライブ事業 《重点》〔自主〕
- (7) 彩の国あんしんセーフティネット事業 《重点》〔自主〕
- (8) 法外援助による一時援護事業 〔自主〕

### 5 指定管理に関する事業

- (1) 行田市総合福祉会館の指定管理 《重点》〔受託〕
- (2) 行田市老人福祉センターの指定管理(大堰永寿荘、南河原荘) 《重点》〔受託〕
- (3) 行田市障害者福祉センターの指定管理 《重点》〔受託〕

## 6 適正な法人運営と経営基盤の強化

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| (1) 理事会、評議員会の開催 | 《重点》〔自主〕 |
| (2) 各種委員会の開催    | 〔自主〕     |
| (3) 会員会費増強活動    | 《重点》〔自主〕 |
| (4) 社協だよりの発行    | 《重点》〔自主〕 |
| (5) ホームページの充実   | 《重点》〔自主〕 |

## 7 その他

- (1) 埼玉県共同募金会行田市支会
- (2) 日本赤十字社埼玉県支部行田市地区